

## 上肢機能支援チーム

“麻痺側上肢を日常生活へ”を目標に掲げ活動を行っています。

脳血管疾患などにより、肩や手に痛みのある患者さんや、動かしたいけれどもうまく動かせない患者さんなどに対し、患者さんに適した各種治療機器（低周波治療器・ポータブルスプリングバランサーなど）の導入、車椅子用肘置きを作成や、アームサポートを利用した上肢からの姿勢崩れの軽減など、より良い治療の提供ができるように支援を行っています。



チームメンバー(OT8名)は各回復期病棟に配置し、毎月ミーティングを行い、各病棟の患者さんの状態把握や必要物品の把握をしています。従来の訓練法に加えて、最新のリハビリ治療手段（川平法、NESSやIVESなどの刺激装置、ボツリヌス治療など）を用いて、患者さんに適した各種治療機器の選択や、評価法の啓発活動を行っています。



日常生活上での上肢管理(亜脱臼や痛み)として、機能解剖やバイオメカニクス、徒手的治疗の勉強会などを行ない、車椅子用肘置きの作成や、アームサポートを利用した上肢からの姿勢崩れの軽減・痛みの管理などを行っています。



食事動作などにおける麻痺側上肢の活動度の向上として、食事動作の評価・道具などの選定、予後予測から利き手交換等を行い、状態に合わせた麻痺側上肢の活動が行なえるように支援しています